

1. 取り組みの背景と目的

熊本県八代市では、平成27年3月に八代市地域公共交通網形成計画を策定し、市民の生活を支える、多様な移動ニーズに対応した公共交通の実現に向けた公共交通網の見直し、並びに持続可能な公共交通体系の構築に向けた利用促進に取り組んでいる。

八代平野に位置する本市では、その地形の特性上、高校生は主に自転車を利用しており、公共交通を利用することは少ない。また、自動車運転免許証を取得すると、自転車からマイカーにシフトし、結果として公共交通は移動手段の選択肢として認識されず、マイカーに依存する傾向が強い。

以上の背景を踏まえて、本取り組みでは高校生を対象として、公共交通を移動の選択肢として認識してもらう、さらには利用してもらうことを目的にモビリティ・マネジメントを実施した。

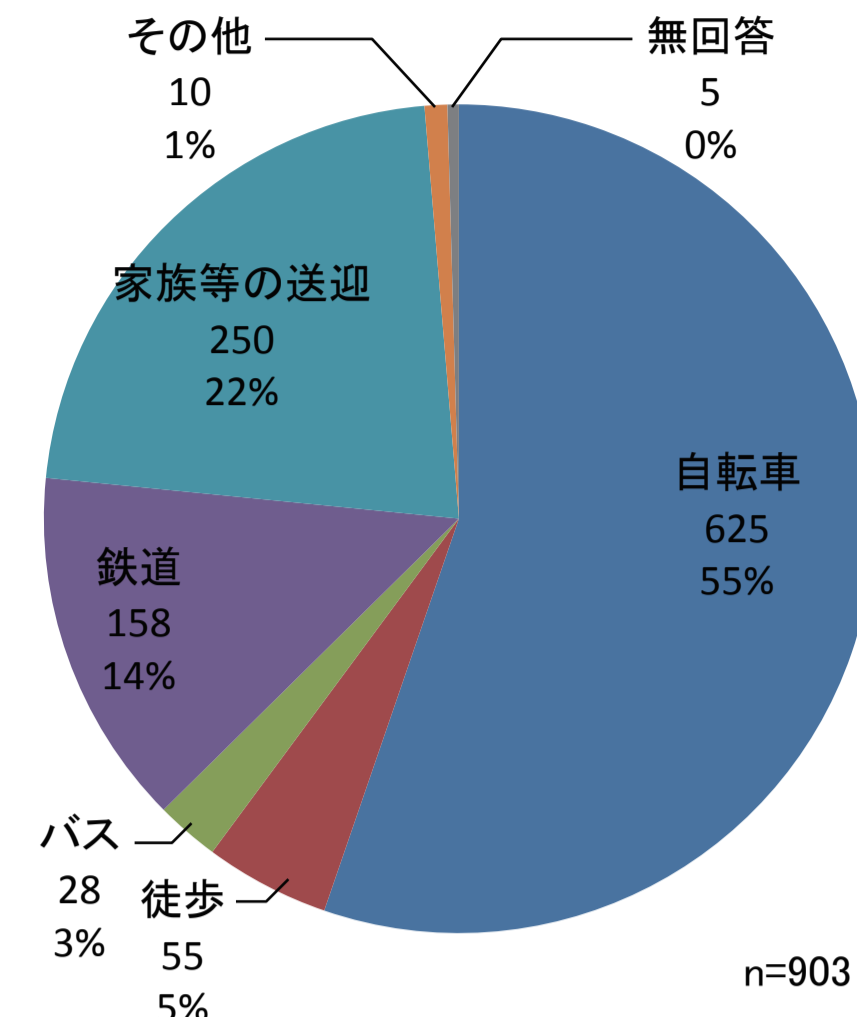


図 通常時の通学手段

2. 取り組み内容

実施したMMプログラムは、市内の公共交通の路線図と時刻表を示した「八代市公共交通マップ」と公共交通利用への動機付けを行う冊子「通学 STYLE BOOK」を配布し、合わせて公共交通に対する意識づけを行うアンケート調査を行うワンショットTFPを実施した。

動機付け冊子“通学 STYLEBOOK”

【記載内容のポイント】

➤ 高校生が実感しやすいメリット

- 通学時に公共交通を利用することのメリット
 - ・ 通学時間の有効活用
 - ・ 重い荷物の軽減
 - ・ 悪天候時の快適な通学 など

➤ 地域の社会問題への関心の喚起

- - ・ 高齢者や妊婦等交通弱者の移動手段確保の必要性
 - ・ 重い荷物の軽減 など

➤ 保護者の視点からのメリット

- - ・ 自転車での通学の危険性の軽減
 - ・ 夜間の通学の危険性の軽減 など

【デザインのポイント】

➤ 高校生にとって身近に感じてもらえるマンガ形式を採用

- ・ 情報提供のみであっても高いコミュニケーション強度を確保する
- ・ 高校生が興味を持ち、公共交通に対する印象が強く残るよう、訴求性の高いものとする
- ・ 記載内容をわかりやすく伝える



図 動機付け冊子“通学 STYLEBOOK”（左：表紙、右：中面（一部））

3. 取り組みの効果

アンケート調査の結果、回答者の約6割が「以前よりも公共交通に対する関心が高まった」と回答し、また約8割が「公共交通が移動手段の選択肢として認識した」と回答した。

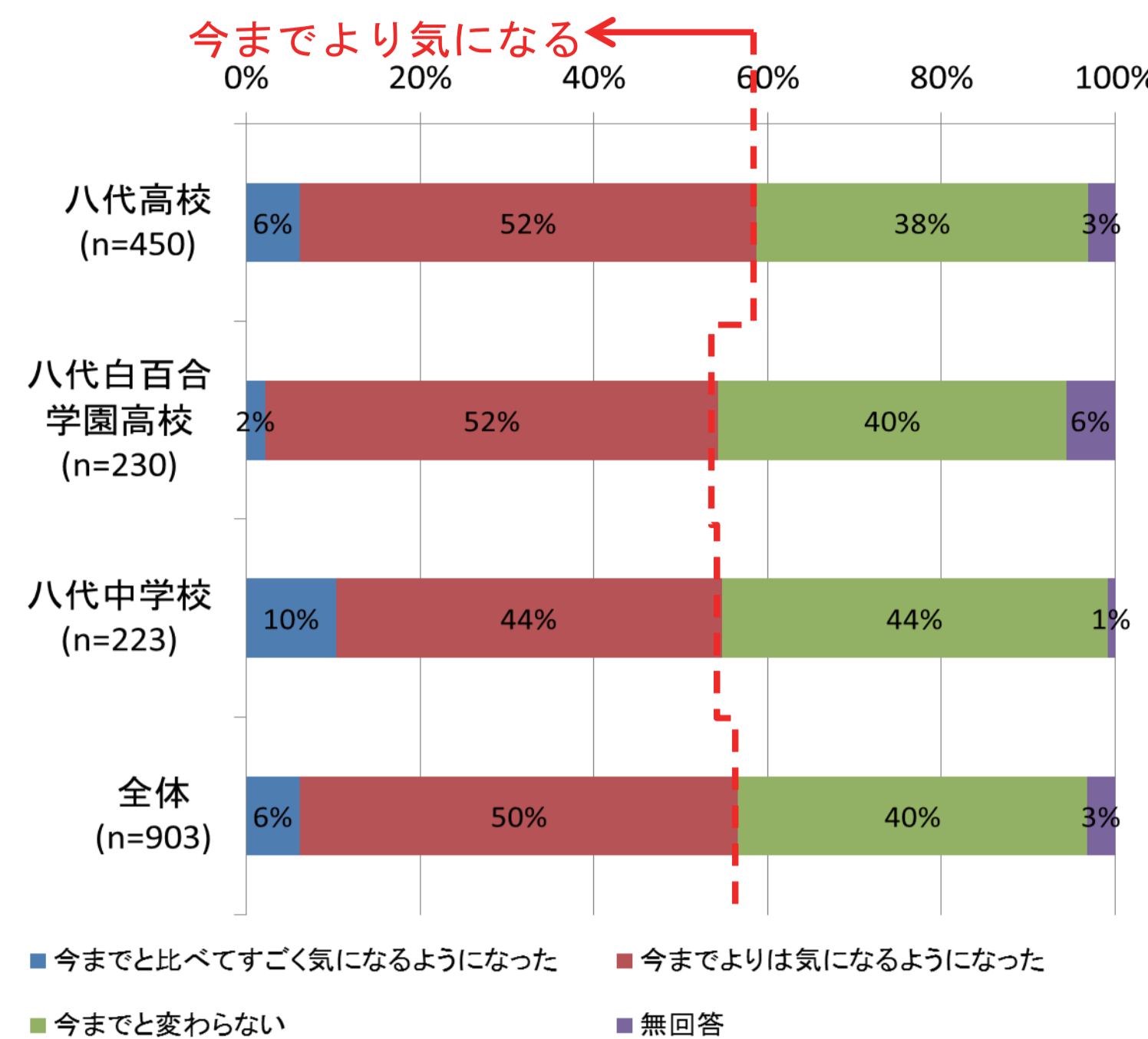


図 公共交通に対する関心の変化

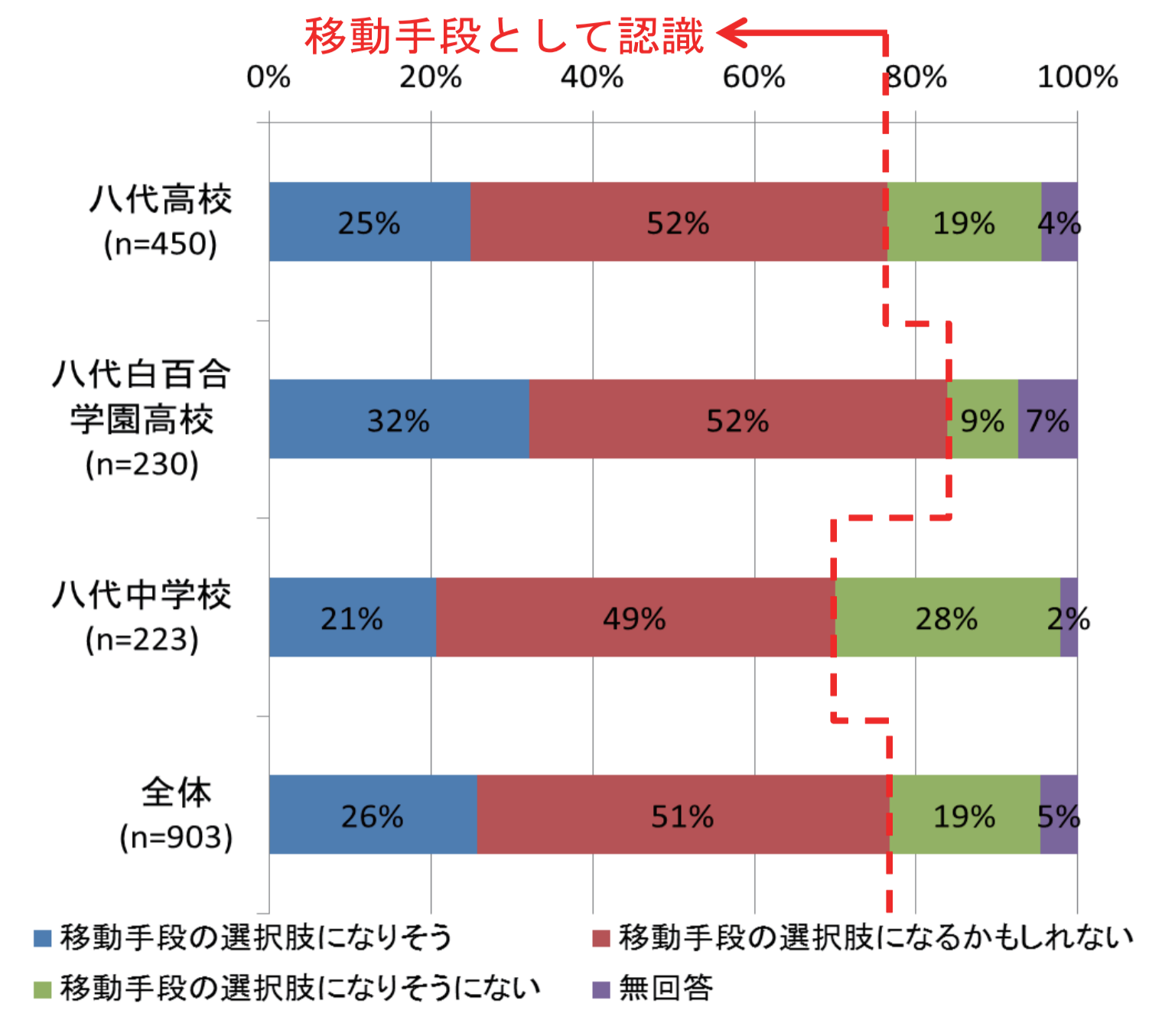


図 移動手段の選択肢としての公共交通に対する認識の変化

さらには、「通学時の利用が増える」との意向を約4割が示し、既に利用している層も含めると約半数が公共交通利用意向を示した。また、動機付け冊子“通学 STYLEBOOK”に対する評価が高いほど、「利用が増える」との意向を示す割合が高くなった。このように、各種ツールの配布によって、高校生に公共交通の利用を強く意識づけることができた。

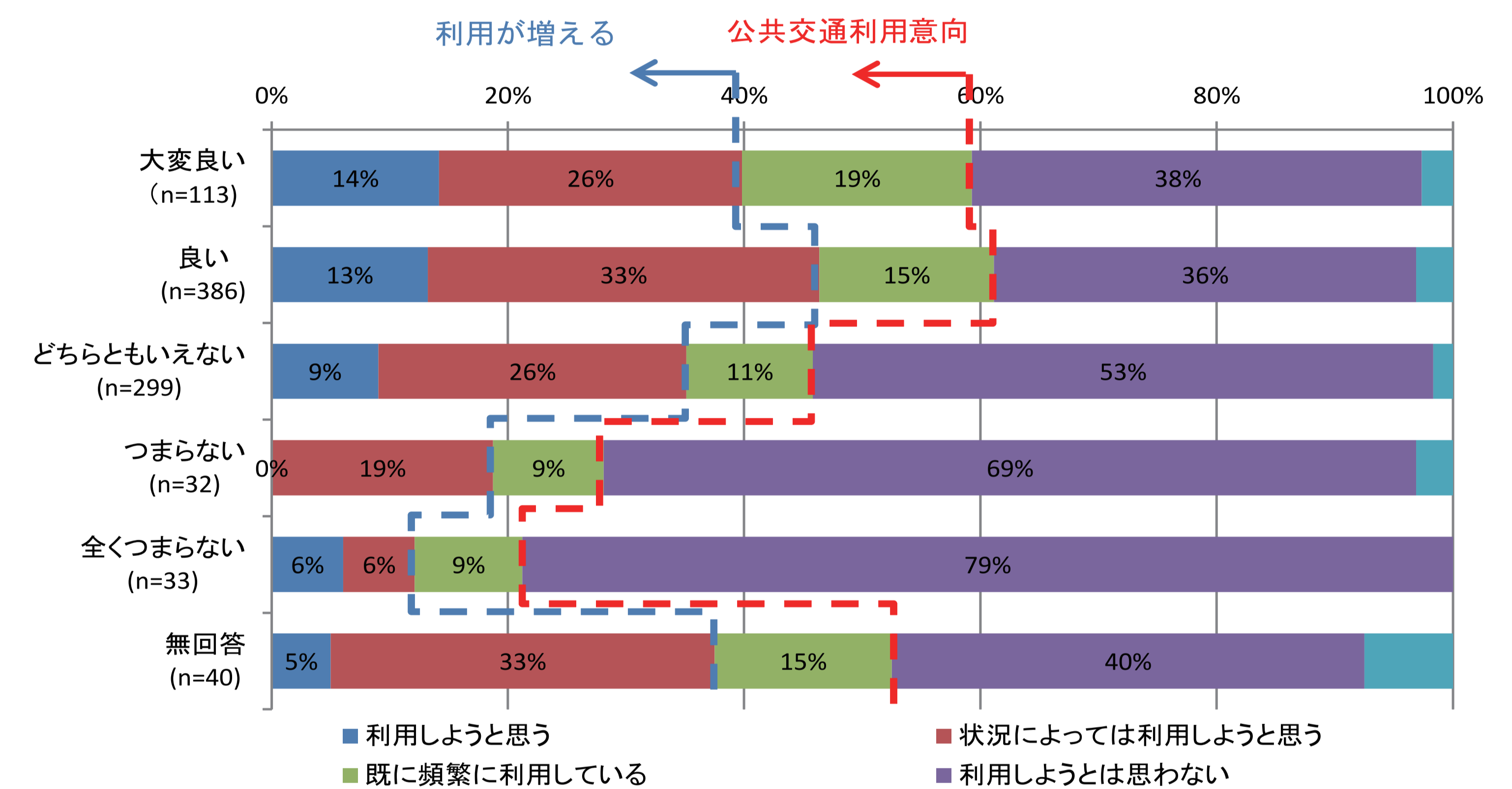


図 通学 STYLEBOOK に対する評価別の通学時の公共交通利用意向

プログラム参加者を対象としたワークショップでは、“通学 STYLEBOOK”について、「何度か読み返した」とのコメントを受けるなど、高校生に高い興味をもって読んでもらえ、公共交通を強く印象付けたことが明らかになった。

表 通学 STYLEBOOK に対する参加者の意見

- マンガになっているため読みやすい。
- 何回か読み返した。
- いつも自転車通学だが、読んでみてバスに乗ってみたいと思った。
- 社会マナーが大事であることに共感した。
- 通学中に勉強ができる点は非常にいいメリットだと感じた。（特にテスト期間中）

4. 結論および今後の展開

学校MMの今後の展開としては、市内全高校を対象を広げ、高校生が通学手段を固定化する前の働きかけを行っていくために、入学説明会などの新入生が通学手段を選択する機会に、「通学 STYLEBOOK」を含む公共交通に関する情報提供を行う予定としている。また、高校生への働きかけは、マイカーに依存するライフスタイルが形成される前の働きかけとなるため、公共交通に関する関心等を深く印象付けることで、運転免許取得後も公共交通を利用する、将来の公共交通利用者の育成につながることを期待される。